

1. 件名：検査制度見直しに関する九州電力株式会社との試運用に関する面談
2. 日時：令和2年2月14日（金）11：20～12：00
3. 場所：九州電力株式会社 川内原子力発電所 サービスビル本館5階 502、503会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
検査総括監督課 伊藤課長補佐
実用炉監視部門 久光上級原子炉解析専門官、杉岡原子力検査官補
核燃料施設等監視部門 北村主任監視指導官、小野原子力検査官補
専門検査部門 雑賀上席原子力専門検査官
原子力規制企画課火災対策室 大嶋室長、北嶋室長補佐、日野原子力規制専門員
技術基盤グループ
システム安全研究部門 柁島主任技術研究調査官、笠原技術参与
川内原子力規制事務所 川越原子力運転検査官
九州電力株式会社
川内原子力発電所 防災担当次長 他19名

5. 要旨

- (1) 1月14日～2月14日に九州電力株式会社（以下「九州電力」という。）川内原子力発電所で「火災防護（3年）」に係る検査ガイドのチーム検査の試運用を行ったことから、原子力規制庁と九州電力とで、配布資料（1）の事業者意見も踏まえ、当該試運用に関する意見交換を行った。
- (2) 具体的には、九州電力からは、検査官の現場ウォークダウンについて、事業者も一緒に行動する方が、検査官コメントの理解が進むことや、作業現場におけるインタビュー方法について、作業状況と検査官人数を考慮してほしいとの意見があった。今後も引き続きコミュニケーションを図り、本運用に向けて相互理解を深めていくことで認識を共有した。

6. 配布資料

- (1) 試運用フェーズ3実施後の振り返り〔対象検査ガイド「BE1021 火災防護（3年）」〕（九州電力資料）